【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公表番号】特表2005-535412(P2005-535412A)
【公表日】平成17年11月24日(2005.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2005-046
【出願番号】特願2004-529373(P2004-529373)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/00　　３２０

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年7月29日(2010.7.29)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
患者の体内の解剖学的部位へインプラントを移送するためのアセンブリであって：
外被を含み、該外被は少なくとも第１スリーブと第２スリーブとを有し、該スリーブは該インプラントの少なくとも一部を内包する様に構成され、該第１スリーブおよび第２スリーブの先端部は、タブに結合されており、該タブは、該スリーブの内腔内で引っ張られると、その結果、該タブが、該スリーブの遠位端におけるタブアクセスポイントに設置されるように構成されており、該タブの構成は、該インプラントと重なる舌部を形成する、アセンブリ。
【請求項２】
前記第１および第２スリーブの少なくとも一方は少なくとも２種の材料の複合体を含む、請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項３】
前記第１および第２スリーブのそれぞれが同じ長さである、請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項４】
前記第１および第２スリーブのそれぞれが少なくとも１個所の蝶番部分を有する、請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項５】
前記第１スリーブの蝶番部分が前記第２スリーブの蝶番部分と連結して蝶番を形成する、請求項４に記載のアセンブリ。
【請求項６】
前記インプラントが女性の尿失禁を治療するための吊り具を含む、請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項７】
前記外被が前記インプラントの全てを内包する、請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項８】
インプラントを患者の体内の解剖学的部位に移送するためのシステムであって：
該システムは、外被を備え、該外被は少なくとも第１スリーブと第２スリーブとを含み、該スリーブは該インプラントの少なくとも一部を内包する形状であり、該第１スリーブ

および第２スリーブの先端部は、タブに結合されており、該タブは、該スリーブの内腔内で引っ張られると、その結果、該タブが、該スリーブの遠位端におけるタブアクセスポイントに設置されるように構成されており、該タブの構成は、舌部を形成し、該舌部は該インプラントと重なり、該外被は、該インプラントを該解剖学的部位に設置する際に、該外被が患者の体から引き抜かれ得るように構成されている、
システム。
【請求項９】
各スリーブがさらに蝶番部分を有し、一方のスリーブの該蝶番部分は他方のスリーブの該蝶番部分に連結する、請求項８に記載のシステム。
【請求項１０】
前記外被が、前記蝶番部分を切断し、そして前記第１スリーブを前記第２スリーブから分離することにより、該スリーブが患者の体から引き抜かれることを可能にするように構成されている、請求項９に記載のシステム。
【請求項１１】
インプラントを患者の体内の解剖学的部位に移送するための、アセンブリであって：
少なくとも第１スリーブと第２スリーブを含む外被であって、該スリーブは該インプラントの少なくとも一部を内包する形状である、外被と；
該第１スリーブと該第２スリーブとを連結する形状である骨格と；
を含み、
該第１スリーブおよび該第２スリーブの先端部は、タブに結合されており、該タブは、該スリーブの内腔内で引っ張られると、その結果、該タブが、該スリーブの遠位端におけるタブアクセスポイントに設置されるように構成されている、アセンブリ。
【請求項１２】
前記骨格がさらに褶曲部を含み、前記第１スリーブと前記第２スリーブとの間に蝶番を形成する、請求項１１に記載のアセンブリ。
【請求項１３】
前記第１スリーブと前記第２スリーブのうちの一方が前記インプラントに重なる舌部をさらに含む、請求項１１に記載のアセンブリ。
【請求項１４】
前記第１および第２スリーブのうちの少なくとも一方が２種以上の材料の複合体を含む、請求項１１に記載のアセンブリ。
【請求項１５】
インプラントを患者の体内の解剖学的部位へ移送するためのシステムであって、該システムは：
外被であって、該外被は少なくとも第１スリーブと第２スリーブとを含み、該スリーブは該インプラントの少なくとも一部を内包する形状であり、該第１スリーブおよび該第２スリーブの先端部は、タブに結合されており、該タブは、該スリーブの内腔内で引っ張られると、その結果、該タブが、該スリーブの遠位端におけるタブアクセスポイントに設置されるように構成されている、外被と；
骨格であって、該骨格は該第１スリーブと第２スリーブを結合する骨格と；
を備え、該外被は、該インプラントを該解剖学的部位に設置する際に、該外被が患者の体から引き抜かれ得るように構成されている、システム。
【請求項１６】
前記骨格が褶曲部をさらに有し、前記第１スリーブと前記第２スリーブとの間に蝶番を形成する、請求項１５に記載のシステム。
【請求項１７】
前記骨格が、該骨格を切断し、前記第１スリーブと前記第２スリーブとを分離することにより、該骨格と該スリーブとが患者の体から引き出されことを可能にするように構成されている、請求項１５に記載のシステム。
【請求項１８】

インプラントを患者の体内の解剖学的部位に移送するためのアセンブリであって：
共同作業して該インプラントの少なくとも一部を内包する第１スリーブ部分と第２スリーブ部分とを含む外被と；
該第１スリーブ部分の末端上にあり、該第１スリーブ部分を通って該外被の第１末端に達するタブと；
該タブにアクセスするために該外被の該第１末端に位置するタブアクセスと、
を含み、
該第２スリーブ部分の末端上にあり、該第２スリーブ部分を通って該外被の第２末端に達するタブと；
該タブにアクセスするために該外被の該第２末端に位置するタブアクセスと、
をさらに含む、アセンブリ。
【請求項１９】
前記アセンブリを患者の体内に設置するために、第１スリーブ部分の末端に位置するタブを前記外被がさらに含む、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項２０】
前記外被の設置を助けるために、該外被がその表面上に配置された目視指示マークを含む、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項２１】
前記第１および第２スリーブ部分のそれぞれが別個のスリーブである、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項２２】
前記第１および第２スリーブ部分のそれぞれが同じ長さである、請求項２１に記載のアセンブリ。
【請求項２３】
少なくとも前記第１および第２スリーブ部分が重なって、前記インプラントの少なくとも一部を内包する、請求項２１に記載のアセンブリ。
【請求項２４】
前記第１および第２スリーブ部分のそれぞれが少なくとも１個所の蝶番部分を含む、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項２５】
前記第１スリーブ部分の蝶番部分が前記第２スリーブ部分の蝶番部分に連結して、蝶番を形成する、請求項２４に記載のアセンブリ。
【請求項２６】
前記外被が引裂き可能領域を含む、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項２７】
前記引裂き可能領域は前記第１スリーブ部分の上にタブを含む、請求項２６に記載のアセンブリ。
【請求項２８】
前記引裂き可能領域が複数の開口部を含む、請求項２６に記載のアセンブリ。
【請求項２９】
前記外被が複数の切込みを含む、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項３０】
前記外被が引裂き可能な材料で製造される、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項３１】
前記外被が直線状の分子配向を有する材料で製造される、請求項１８に記載のアセンブリ。
【請求項３２】
インプラントを患者の体内の解剖学的部位へ移送するためのシステムであって：
該インプラントの少なくとも一部を内包する寸法の内腔と、内部タブと、タブアクセスとを含む外被を備えるアセンブリを備え、

該インプラントを患者の体内に設置するために該タブアクセスにより該内部タブにアクセス可能であり、
該アセンブリが、患者の体内の該解剖学的部位に設置されるように構成されている、システム。
【請求項３３】
インプラントを患者の体内の解剖学的部位へ移送するためのシステムであって：
インプラントと外被を備え、該外被が少なくとも２個のスリーブを含み、該スリーブが該インプラントの少なくとも一部を内包する形状であり、該スリーブの先端部は、タブに結合されており、該タブは、該スリーブの内腔内で引っ張られると、その結果、該タブが、該スリーブの遠位端におけるタブアクセスポイントに設置されるように構成されており、各スリーブがさらに蝶番部分を有し、一方のスリーブの該蝶番部分が他のスリーブの該蝶番部分と連結し；
該インプラントと外被とが、該インプラントが患者の体内の該解剖学的部位に設置され得るように構成されている、システム。
【請求項３４】
前記外被が、前記蝶番部分を切断し前記スリーブを分離することにより、該スリーブが患者の体から引き出されることが可能になるように構成されている、請求項３３に記載のシステム。
【請求項３５】
患者の体内の解剖学的部位へインプラントを移送するためのシステムであって：
外被によって保護されたインプラントであって、該外被は、少なくとも第１スリーブと第２スリーブとを有し、該インプラントは、解剖学的部位に設置されるように構成されたインプラントと；
第１スリーブ部分および第２スリーブ部分のタブであって、該タブは、該スリーブの遠位端におけるタブアクセスポイントに設置され、該タブを引っ張ると、外被の一部が引裂かれて外被が該インプラントから外れるように構成されたタブと；
を備え、該外被が、蝶番を備え、該蝶番は、該タブを引っ張った後に該外被上の該蝶番を膣内で引っ張ると、該外被の全部または一部が膣を通して引き出されるように構成されている、システム。
【請求項３６】
タブアクセスをさらに備え、該タブアクセスは、前記タブを引っ張る前に、前記第１スリーブ部分上の該タブアクセスを経由して、該第１スリーブ部分上の該タブにアクセスし得るように構成されている、請求項３５に記載のシステム。
【請求項３７】
患者の体内の解剖学的部位にインプラントを移送するためのアセンブリであって：
長さおよび幅を有する吊り具と；
該吊り具の少なくとも一部を内包し、第１および第２側面を有する外被であって、該第１および第２側面の先端部は、タブに結合されており、該タブは、該外被の内腔内で引っ張られると、その結果、該タブが、該側面の遠位端におけるタブアクセスポイントに設置されるように構成されており、第１側面が吊り具の第１部分に沿って幅を露出する不連続部分を有する外被と、
を含む、アセンブリ。
【請求項３８】
前記不連続部は、前記外被の第１側面の第１および第２部分の間に配置されたギャップを含む、請求項３７に記載のアセンブリ。
【請求項３９】
前記外被は、前記吊り具の第２部分に沿って幅を露出する第２不連続部分を含む、請求項３７に記載のアセンブリ。
【請求項４０】
前記吊り具の長さの中間部分に沿った幅は前記外被で覆われていない、請求項３８に記載

のアセンブリ。
【請求項４１】
前記吊り具の長さの中間部分に突起部がない、請求項３９に記載のアセンブリ。
【請求項４２】
前記吊り具の長さに沿って中間に位置する第１および第２スリット形開口部を、前記外被の第１側面がさらに含み、該吊り具がスリット形第１開口部を通って該外被の外へ出、スリット形第２開口部を通って該外被中へ戻り、該外被のない長さの中間部分の該吊り具のループを形成する、請求項３７に記載のアセンブリ。
【請求項４３】
前記外被のない長さの中間部分の前記吊り具のループに突起部がない、請求項４２に記載のアセンブリ。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
他の態様では、アセンブリには第１側面と第２側面を有する少なくとも一つのスリーブを有する外被が含まれる。外被は例えばある長さと幅を有する吊り具等のインプラントの少なくとも一部を内包する。外被の第１側面には吊り具の第１部分に沿って幅を露出する少なくとも１個所の不連続部が含まれる。ある実施態様では、不連続部は外被の第１側面の第１および第２部分の間に配置された空隙である。吊り具の長さの中央部分は外被で覆われていない（内包されていない）。吊り具のこの長さの中央部分には突起部が無くてもよい。他の実施態様では、外被の第１側面は第１スリット形開口部と第２スリット形開口部を有する。少なくとも部分的に内包された吊り具は、第１スリット形開口部を通って外被の外へ出て、第２スリット形開口部を通って外被内に戻り、外被の長さの中央部にある、外被のない吊り具ループを外被の外側に形成する。長さの中央部の外被のない吊り具ループには突起部が無くてもよく、例えば外被の外側等の覆いがない部分である。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４８】
図１Ｄ、１Ｆおよび１Ｋを参照すると、具体的な実施態様では先端部１５０Ａはスリーブ２０Ａ内に完全に引き込まれず、先端部１５０Ａの重複領域１５０Ｃが外部表面４０上に残っている。同様に、スリーブ２０Ｂの先端部１６０Ａはスリーブ２０Ｂ内に完全に引き込まれず、先端部１６０Ａの重複領域１６０Ｃが外部表面４０上に残っている。重複領域１５０Ｃおよび１６０Ｃは約０．０４インチ～約１．２インチの範囲であり、好ましくは約０．３インチである。外被２０のスリーブ２０Ｂの重複領域１６０Ｃは外被２０のスリーブ２０Ａの重複領域１５０Ｃの先端にあってもよい。重複領域１５０Ｃおよび１６０Ｃは外被２０内に内包される吊り具１０を保護する。例えば、外被２０が中位尿道吊り具１０を移植するために用いられる本発明の実施態様では、外被２０の重複部分１５０Ｃおよび１６０Ｃにより、例えば手術用中に吊り具１０に不注意に添加される止血剤のために吊り具１０が伸びることを防止する。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【００５９】
図１Ａ、１Ｆ、１Ｉ、１Ｋおよび１Ｍを再度参照すると、オペレーターは同様にタブアクセス１６３Ａの切り込み部２２０Ｂを通してタブ１９８を引くことによりタブ１９８にアクセスする。タブ１９８とタブアクセス１６３Ａは外被２０の第２末端２０２に位置している。オペレーターは蝶番２００を膣内で掴み、同時にタブ１９８を引く。先端部１６０Ａに連結したタブ１９８上に加えられる力により、外被２０がスリーブ２０Ｂの上面２６０Ａに沿って引き裂かれ、外被２０から取り去られる。先端部１６０Ａに連結したタブ１９８上に加えられる力はスリーブ２０Ｂのこれらの部分を引き裂き、外被２０から取り去る。従って、タブ１９８、先端部１６０Ａ、スリーブ２０Ｂの先端、および遠位先端部１６４Ａの一部が外被２０から引き出される。そのため、先に外被２０により内包された吊り具１０の部分が露出する。最後に、蝶番２００、およびタブ２０８および２１８を含む外被２０の残りが患者の膣を通って引き出される。吊り具１０はオペレーターが吊り具１０を設置した解剖学的部位、例えば尿道９９９の解剖学的部位で患者の体内に残留する。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６３】
図１Ｋ、１Ｆおよび２Ｃを参照すると、同様にタブアクセス１６３Ａの切り込み部２２０Ｂを通ってタブ１９８を引くことにより、オペレーターはタブアクセス１９８にアクセスする。オペレーターは膣内で蝶番２００を掴み、同時にタブ１９８を引く。先端部１６０Ａに連結したタブ１９８に加えられる力により、スリーブ２０Ｂのこれらの部分が外被２０から引き裂かれて取り除かれる。従って、タブ１９８、先端部１６０Ａ、スリーブ２０Ｂの上面２６０Ａ、および遠位先端部１６４Ａの一部が外被２０から引き抜かれる。そのため、予め内包された吊り具１０の部分が露出する。最後に蝶番２００、および第１ガイドチューブ３５０Ａおよび第２ガイドチューブ３５０Ｂを含む外被２０の残りの部分が患者の膣を通って引き抜かれる。オペレーターが吊り具１０を設置した患者の体内の解剖学的部位、例えば尿道９９９の解剖学的部位に吊り具１０が残される。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６９】
オペレーターは外被２０を位置４３７Ｂで切断し、第２ガイドチューブ３５０Ｂを引き出し、外被２０を分離してタブ１９８にアクセスする。オペレーターは蝶番２００を掴み、同時にタブ１９８を引く。先端部１６０Ａに連結したタブ１９８に加えられた力により、スリーブ２０Ｂのこれらの部分が外被２０から取り去られる。従って、タブ１９８、先端部１６４Ａスリーブ２０Ｂの上面２６０Ａおよび遠位先端部１６４Ａの一部が外被２０から引き抜かれる。その結果、予め内包した吊り具１０部分が露出する。最後に蝶番２００および外被２０の残りの部分が膣を通って引き抜かれる。この実施態様により、オペレーターが外被の残りの部分を引き出す際にガイドチューブ３５０Ａおよび３５０Ｂが患者のからだを通って引き戻されることが防止される。オペレーターが吊り具１０を設置した解剖学的部位で、吊り具１０が体内に残される。
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７９
【訂正方法】変更

【訂正の内容】
【００７９】
図３Ｉを再度参照すると、第１スリーブ２０Ａの舌部１５５は第２スリーブ２０Ｂの内腔１８５内に止めつけられている。舌部１５５は第２スリーブ２０Ｂの内腔１８５Ｂ内に嵌合する様な寸法と形になっている。舌部１５５が内腔１８５Ｂ内に留めつけられると、外被２０内に内包された吊り具１０が舌部１５５に対応する外被２０の領域２５５内の舌部１５５で遮蔽される。例えば、外被２０が中位尿道吊り具１０を移植するために用いられた場合、例えば吊り具１０設置中に舌部１５５に対応する外被２０領域内で吊り具１０を摩擦する患者の組織で生じる吊り具１０の損傷を、外被２０の舌部１５５が防止する。また、外被２０設置中に吊り具１０で生じる患者の組織に対する摩擦を、舌部１５５が防止する。
【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８２】
他の態様では、本発明は患者の体に対するインプラントアセンブリ１２０の移送法である。図３Ｈ～３Ｉを参照すると、図１Ｊおよび１Ｋを参照して上記に説明される様に、吊り具１０が外被２０内に設置される。吊り具１０の少なくとも一部が外被２０内に内包され、ある実施態様では、外被２０が吊り具１０の実質的に全部を内包する。本発明の他の態様で図２Ａを参照すると、インプラント、例えば吊り具１０を患者の体内の解剖学的部位へ設置する方法である。本発明のこの方法のある実施態様によれば、オペレーターは吊り具１０を内包する外被２０を解剖学的部位、例えば尿路９９９または膀胱頚部に設置する。
【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８３】
図３Ａおよび３Ｉを参照すると、オペレーターは蝶番２００を掴み、位置２００Ａの近くで蝶番２００を切断する。位置２００Ａはインプラント吊り具１０に隣接した蝶番２００の位置であり、そこではスリーブ２０Ａおよび２０Ｂの底部１５０Ｂおよび１６０Ｂは封じられていない。ある実施態様では、底部１５０Ｂまたは１６０Ｂの一方を位置２００Ａで切断し、その切断された底部を底部１５０Ｂまたは１６０Ｂから自由にする。他の実施態様では、オペレーターは蝶番２００を２００Ａの位置で切断し、その後蝶番２００を膣を通って引っ張る。ある実施態様では、蝶番２００の連結した底部１５０Ｂおよび１６０Ｂを引き抜く。他の実施態様では、蝶番部として作用し蝶番２００を形成する底部１５０Ｂおよび１６０Ｂを取り巻くクリップ（図示せず）をオペレーターが開放して引き出す。
【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１０３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１０３】
ある実施態様の例では、吊り具１０には末端部２４９Ａおよび２４９Ｂを有する突起部のない中央の長さ部分２４４、および２つの突起部のある両端の長さ部分２４８Ａおよび２４８Ｂが含まれる。適当なインプラント吊り具１０には例えば２００２年３月７日出願

のＵ．Ｓ．Ｓ．Ｎ．１０／０９２、８７２に記載の吊り具等の突起部のない吊り具が含まれ、その全文を本明細書に引用して援用する。２つの突起部のある両端の長さ部分２４８Ａおよび２４８Ｂは、突起部のない中央の長さ部分２４４の末端２４９Ａおよび２４９Ｂから、吊り具末端２５２Ａおよび２５２Ｂへそれぞれ伸びている。好ましい実施態様では、突起部のある両端の長さ部分２４８Ａおよび２４８Ｂは実質的に長さが等しく、突起部のない中央の長さ部分２４４は実質的に吊り具１０の長軸に沿った中心にある。

【誤訳訂正１１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１０７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１０７】
図６に示された実施態様をさらに参照すると、吊り具１０の長さの中央部の突起部のない部分２４４がギャップ２６８に整列し、ギャップ２６８に露出する。言い換えると、長さの中央部の突起部のない部分２４４の末端２４９Ａおよび２４９Ｂが第１スリーブ末端２７６Ａおよび第２スリーブ末端２７６Ｂそれぞれと一致することが好ましい。

【誤訳訂正１２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１０８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１０８】
図７に示す実施態様を参照すると、吊り具１０が少なくとも部分的に外被２０に内包されていることが示される。吊り具１０はスリット形開口部２７２Ａおよび２７２Ｂの一つで外被から出て、他のスリット形開口部２７２Ｂおよび２７２Ａで外被２０に再び入る。長さの中央部の突起部のない部分２４４の末端２４９Ａおよび２４９Ｂが第１スリーブ２５６のスリット形開口部２７２Ａおよび２７２Ｂと一致し、吊り具１０の長さの中央部の突起部のない部分２４４がスリット形開口部２７２Ａおよび２７２Ｂの間の外被２０の外側に位置し、２個所の突起部のある両端の長さ部分２４８Ａおよび２４８Ｂが外被２０内に内包されていることが好ましい。